

H23年3月の沿岸域の海況と漁況

3月の漁況

- ・1～2月に比べてサワラ・サゴシの漁獲量が減った。
- ・アジ類の漁獲量が一昨年同期と比べて少ない。
- ・ハマチは単価が安いいため、漁獲を控える傾向あり。

各地の漁獲情報 (3/22～3/29まで)

出所:漁協担当者への聞き取り調査による

漁法	魚介類	水揚場所	漁獲量 (1日あたり)	操業数 (1日あたり)	備考
刺網	アジ類	淀江	20～40箱	5～8隻	
		御来屋	50～500箱	13～14隻	2000～4000円/箱
		赤碕	5～100箱	7隻	
		泊	30～50箱	1～2隻	
タイ類		淀江	10～50箱	2隻	3～4日間のみ
		泊	5～10箱	1～2隻	
		酒津	5～15箱	3～4隻	
ハマチ		御来屋	最高100箱	13～14隻	1800円/箱前後
		赤碕	最高400箱	7隻	
		泊	100～600箱	5～10隻	
		酒津	150～370箱	4～5隻	
サゴシ		淀江	20～30箱	1隻	7～15本入り主体
コウイカ		淀江	3～10箱	2～4隻	
三重網	カワハギ等	淀江	3～5箱	1隻	
かご	パイ	淀江	50～300kg	5～7隻	
		酒津	10箱前後	1隻	
桁網		泊	20～50箱	2隻	
はえ縄	トラフグ	淀江	20～50本	3隻	1.5～6 kg/本
潜り	サザエ	御来屋	10～70kg	4～5人	
		赤碕	最高250kg	約10人	
アワビ		赤碕	最高60kg	約10人	5000～6000円/kg

例年の4月以降の漁獲模様

- ・アジ類, タイ類, ハマチの漁獲量が増加する
- ・中・西部では, コウイカの漁獲量が増加する

●3月の沿岸域の海況

表面水温は去年の同期よりも約1℃低く推移。

クロロフィルa量は2月に比べて減少したが, 1 μg/L以上の高水準。

- ・表面水温は10.5～12.6℃、0～50m層の平均水温は11.5～12.3℃。
- ・赤碕と長尾鼻の沖側の水深185m (底層) の水温は6.3と11.5℃。

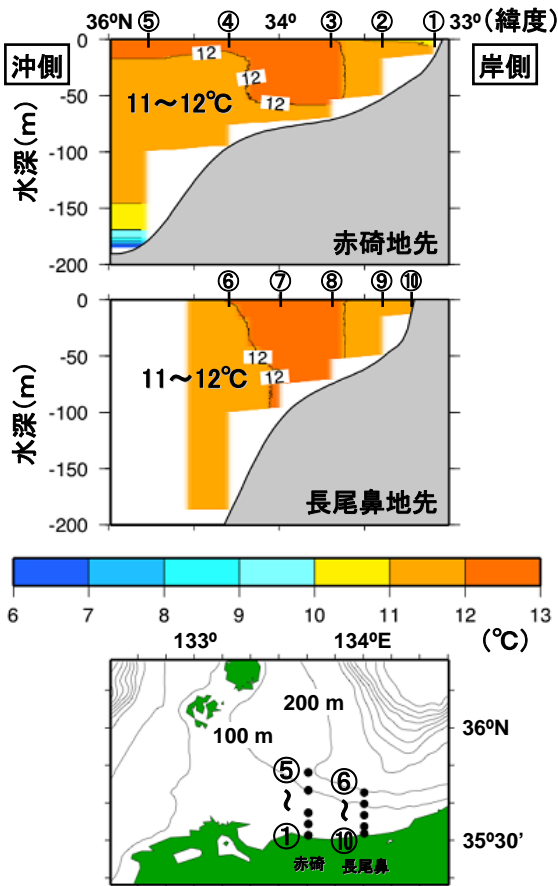


図1) 3月28日の赤碕と長尾鼻の地先における観測点(下図)と水温の鉛直分布(上図)。

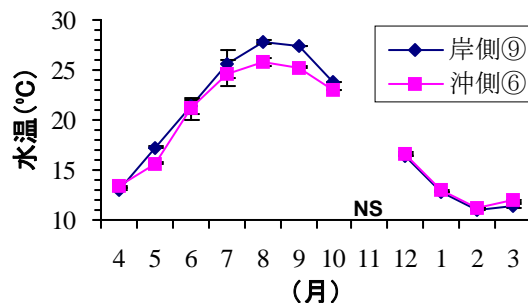


図2) 長尾鼻地先の表層の水温の平均値の季節変化. NS: 観測データ欠測。

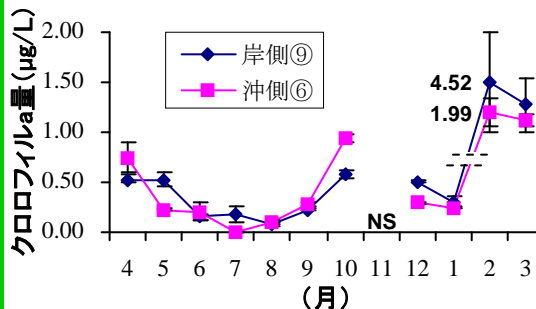


図3) 長尾鼻地先の表層のクロロフィルa量の平均値の変化. NS: 観測データ欠測。

- ・水温は2月から約0.5℃上昇。
- ・クロロフィルa量は2月の植物プランクトンの大発生が収束したものの, 1 μg/L以上の高水準。